

狛江高等学校 令和3年度 教科 地理歴史 科目世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：3単位

対象学年組：第2学年1組～8組

教科担当者：1組：宮本 2組：住司 3組：住司 4組：住司 5組：宮本 6組：宮本 7組：宮本 8組：住司

使用教科書：『詳説世界史B』〈山川出版社〉

使用副教材：『グローバルワイド最新世界史図表』〈第一学習社〉

	指導内容 【年間授業計画】	科目世界史Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
4 月	序章 先史の世界	・先史の世界について今日の研究状況を理解させる。			
	第一部 オリентと地中海世界	・古代文明と今日とのつながりを意識させる。			
	1 古代オリент世界	一部オンラインで実施			2
	メソポタミア文明	メソポタミアの灌漑農業を基盤とした古代文明を理解する			3
	エジプト文明	エジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明を理解する			3

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
5 月	古代オリエントの統一	アッシリアやアケメネス朝ペルシアの統治の特徴を理解する		3
	パルティアとササン朝の興亡、イラン文明の特徴	イラン人王朝の変遷を理解する、イラン文明の特徴を理解する		2
	中間考査			
	2. ギリシア世界			
	地中海世界の風土と人々	地中海世界の風土がギリシア文明の成立にどのように影響を与えたか理解させる。		2

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
6 月	エーゲ文明	クレタ文明、ミケーネ文明、トロイア文明などの特色を理解する		3
	ギリシア民主制の歩み	ギリシア民主制と今日の民主制との共通点と相違点		2
	ヘレニズム世界・ギリシア文化史	オリエント世界とギリシア世界の統一による新たな文化について理解する		3
	3. ローマ世界			
	ローマ共和政	共和政時代の貴族、平民の力関係や、政治運営の仕組みについて理解する		2

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
7 月	期末考査			
	内乱の1世紀	ローマ内部の反乱、権力の集中などについて理解する		3
	ローマ帝国の成立	オクタヴィアヌスを始め、五賢帝など様々な皇帝の政策について理解する		2

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
8 月				

9
月

指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
キリスト教の成立	ユダヤ教や皇帝との対立、ミラノ勅令による公認など、現在のカトリックとつなげて理解する		3
帝政ローマの衰退	ローマ帝国の東西分裂、西ローマ帝国の滅亡、ビザンツ帝国について扱う		2
ローマ文化史	ローマ帝国の諸文化について理解する		2
1. インドの古典文明			
インドの古典文明	今日において大きな影響力を持つにいたったインドの古典文明の性格を把握させる。		3
インダス文明	文明の特徴及び、ウパニシャッド哲学から始まるジャイナ教や仏教思想を理解する。		3

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
1 0 月	アーリヤ人の侵入	民族の移動及び、マガダ国、コーサラ国などの成立までの流れを理解する。		3
	インドの古典王朝	マウリヤ朝～ヴァルダナ朝まで、それぞれの特徴を理解する。		3
	中間考査			
	2. 東南アジアの諸文明	東南アジアの風土と人々、インド・古代文明の受容と東南アジア世界の形成を理解する		3
	3. 中国の古典文明			
	初期王朝の形成	殷・周の政治について理解する。		3

1 1 月	指導内容 春秋・戦国時代	科目世界史Bの具体的な指導目標 春秋・戦国時代のそれぞれの国々について理解する。	評価の観点	予定 3
	秦の統一	秦の始皇帝の政策を中心に理解する。		3
	漢代の政治	前漢の武帝の時代を中心に、漢の政治を理解する。		3

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
1 2 月	漢代の政治 続き	後漢の光武帝の時代を中心に漢の政治を理解する		3
		期末考査	定期考査	
	4. 南北アメリカ文明	ヨーロッパの進出以前にアメリカ大陸に高度な文明が存在していたことを理解させる。		2

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
1 月	第4章 イスラーム世界の形成と発展			
	イスラーム教の誕生	ムハンマドを始めとするイスラム教成立に関する人物、ヒジュラなどの出来事について理解する		2
	イスラーム帝国の形成	ウマイヤ朝から始まるイスラム諸王朝について理解する		3
	インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	イスラム教が各国に伝播する仕組みについて理解する		2
	イスラーム文化	イスラム暦を始めとする諸文化について理解する。		3

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
2 月	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展			
	ヨーロッパの風土と人々	ゲルマン人やローマ人など、ヨーロッパに居住する民族を中心に理解する。		3
	ゲルマン人の大移動	フン人との関連を意識しながら、民族大移動について学習する		3

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点	予定
3 月		学年末考査	定期考査	
	・分野史へのアプローチ	答案返却 1年間の総復習として、各分野の補足を行い理解を深める。		4

狛江高等学校 2021年度 教科 地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科 : 地理歴史 科目 : 日本史B 単位数 : 3 単位

対象学年組 : 第 2 学年 1 組～ 8 組 選択者

教科担当者 : 1 組 : 伊東 2 組 : 福元 3 組 : 福元 4 組 : 福元 5 組 : 福元 6 組 : 福元 7 組 : 伊東 8 組 : 福元

使用教科書 : 詳説日本史B<山川出版社>

使用教材 : 詳録新日本史史料集成<第一出版社> 図録日本史通覧<帝国書院>

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
四 月		春季休業		7
	(1) 原始・古代の日本と東アジア	様々な歴史資料の特性に着目させながら、歴史は資料に基づいて叙述されていることを理解させる。		
	ア 歴史と資料			
	イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特性を比較しながら理解させる。国家形成期から壬申の乱に至る過程を、隋唐など東アジア諸国の影響の中で理解させる。天武・持統朝に豪族・公民の支配が完成し、律令国家が成立したことを理解させる。奈良朝の領土拡大・政争や、国家仏教を大きな特色とする天平文化につき、考察させる。		
			日本列島における旧石器・縄文文化の成立を、自然環境の変化、大陸の影響に着目して捉えることができたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
五月				11
			弥生文化について、水稲耕作や土器・金属器から理解できたか。	
			古墳時代を古墳の在り方から理解できたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
六月				12
			飛鳥文化の形成について、仏教受容・遣隋使・政権運営の点から理解できたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
七 月				6
		期末考査		
			律令体制の在り方が理解できたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
八月		夏季休業		

指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
ウ 古代国家の推移と社会の変化	平安京造営から摂関政治までの過程を、社会の変化、東アジアとの関係変化、 荘園の成立や武士の発生などに着目し、古代国家の推移、唐風・国風文化の展 開などについて理解させる		
		藤原北家の台頭過程が理解で きたか。	
			7
		遣唐使廃止などを踏まえ、国 風文化の特質が理解できた か。	

九月

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
十月				9
			国司支配の変容と公領の変質、荘園の発達を立体的に理解できたか。	
		中間考査		
	(2) 日本の中世と東アジア ア 歴史の解釈	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸史料を活用して、歴史事象の推移・変化・因果関係などを理解させる。 ・ 院政から平氏政権までの課程を、荘園公領制の確立、保元・平治の乱等を通して考察させる 	院政の政治構造、経済、社会、文化を公領荘園制とともに理解できたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
十一月	イ 中世国家の形成			12
		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府成立から執権政治の展開までを、武士の土地支配、公武関係などから理解させる。 ・鎌倉仏教について理解させる 		
			幕府・朝廷の二元的支配構造を把握できたか。	

指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
		武家政権の変容と、土地支配の在り方との関係が理解できたか。	8
	期末考査		
ウ 中世社会の展開	・ 蒙古襲来から南北朝の内乱を経て、室町幕府が成立する過程を諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流を通して理解させる		
	冬季休業	幕府滅亡と建武新政の成立と崩壊の過程が理解できたか。	

十二月

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
一月		冬季休業		11
			日明貿易・日朝貿易、琉球・アイヌの動向などに着目できたか。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・土一揆の発生から応仁の乱までの過程を通して、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上など、中世社会の多様な展開について考察させる。 ・武家文化と公家文化の関わり、庶民文化の萌芽に着目し、その特色と成立背景について理解させる 		

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
二月				10
			惣村の形成と土一揆の発生など、自治組織成立と幕府の動揺との関係が理解できたか。	

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
三月			南北朝・北山・東山文化を通じて、日本の伝統文化について、考察できたか。	9
		学年末考査		
			前近世の日本史の概略が理解できたか。	
		春季休業		